

別紙

試験燃料(軽油類)の部材浸漬試験概要

1. 試験概要

<試験燃料>

- ・浸漬試験用燃料は JPEC で用意し、送付する。

<試験片条件>

- ・試験片素材：表 1 に示される素材のもの。なお、フッ素ゴムを除いた試験片には、可塑剤および老化防止剤の残存量評価を実施するため、それらを配合した試験片を用意すること
- ・試験片形状：ダンベル 3 号形または 20mm×50mm(計測項目による)、
φ29.0mm×t12.5mm(圧縮永久歪み用)

<浸漬試験>

表 1 に示す組み合わせで実施する。

- ・浸漬方法：JIS K6258 または JIS K7114 に準拠。試料容器は密閉式
- ・浸漬条件：80℃または 120℃(材料の種類による)で 1000 時間

<写真の撮影>

- ・浸漬試験後、浸漬した試験片と未処理の試験片を並べて、サイズ感等が比較できる写真を撮影する。

<物性評価>

- ・測定項目：体積変化(JIS K6258)、引張強度・伸び(JIS K6251)、硬さ(JIS K6253)、
圧縮永久歪み(JIS K6262 に基づき、浸漬液中で実施のこと)

<添加剤残存量評価>

- ・試験片の浸漬試験後の可塑剤および老化防止剤溶出による残存量評価(フッ素ゴムを除く)

2. 浸漬試験マトリクス

表 1 浸漬試験マトリクス

サンプル名	22DIP 01	22DIP 02	22DIP 03	22DIP 04	22DIP 05	22DIP 06	22DIP 07
合成系燃料種	炭化水素系 A						炭化水素系 B
合成系燃料混合率 (容量%)	0	20	40	60	80	100	100
試験片素材							
ニトリルゴム	○	○	○	○	○	○	○
水添ニトリルゴム	○	○	○	○	○	○	○
フッ素ゴム	○	○	○	○	○	○	○
ニトリル・塩化ビニル ブレンドゴム	○	○	○	○	○	○	○

3. 実施項目

- ・試験片調達および作成(可塑剤・老化防止剤配合)
- ・浸漬試験
- ・浸漬試験後試験片の写真撮影
- ・試験片の常態物性評価
- ・試験片の浸漬試験後の物性評価
- ・試験片の浸漬試験後の可塑剤および老化防止剤溶出による残存量評価
- ・試験報告書作成（提出部数：製本 2 部および電子媒体 1 部、なおデータは加工可能な様式の電子媒体で 1 部提出の事）

以上